

教科に関する調査の設問別の分析結果

問題 平成 23 年度『基礎・基本学力定着状況調査』より

12 次の英文は、ダイスケ (Daisuke) とブラウン先生 (Ms. Brown) の会話文です。

ふき出しの言葉を使って、の中に友達のカンタ (Kenta) について説明する 3 文以上の英文を書きなさい。

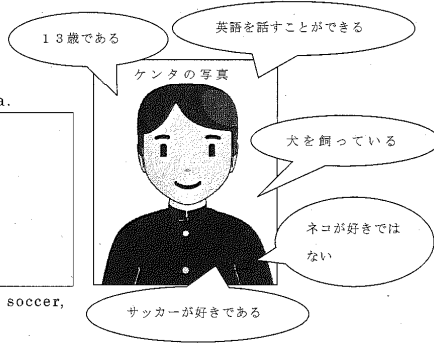
ただし、ブラウン先生との会話の流れを考えて書きなさい。

〔会話文〕

Ms. Brown : Who is he?

Daisuke : He is Kenta.

Ms. Brown : Oh, I like soccer, too.



【出題の趣旨】

- ・ つながりのある英文を書くこと。

【学習指導要領の内容・領域】

- エ 書くこと
- (オ) 自分の考えや気持ちなどが読み手に伝わるように、文と文のつながりなどに注意して書くこと。

	通過率
本校	77.6
本学級 (マスターコース)	77.8
東広島市	72.7
広島県	61.4

解答類型	1	2	3	4	5	6	7	左記以外	無解答
本学級の割合 (%)		11.1	44.4	22.2		5.6	16.7		

この問題を解くために必要な力

- ・ 基本的な文構造についての知識があること。
- ・ 三人称単数主語 (現在時制) の場合に一般動詞の語形変化をさせることができること。
- ・ 可算名詞・不可算名詞を使い分けられること。
- ・ 前後の文から何を表現すべきか推測できること。

解答分析

- ・ 一般動詞の語形変化をさせていない。 全体の 50%  
 解答類型 3 (準正答) において (11.1%)  
 解答類型 4 (準正答) において (16.7%)  
 解答類型 6 (誤答) において (5.6%)  
 解答類型 7 (誤答) において (16.7%)
- ・ 可算名詞・不可算名詞を使い分けられていない。 全体の 83%  
 解答類型 3 (準正答) において (44.4%)  
 解答類型 4 (準正答) において (11.1%)  
 解答類型 6 (誤答) において (5.6%)  
 解答類型 7 (誤答) において (16.7%)
- ・ 現在進行形を混同してしまっている。 全体の 11.1%
- ・ つながりのある文章が書けていない。 全体の 55.6%

## 調査結果の分析をふまえた指導改善のポイント

### 【単元名】 My Favorite Movie

#### 調査結果からみる課題

##### 【課題となる力】

- ・ 文のつながりを考えて、文章を書く力が十分でない。
- ・ 3人称単数主語（現在形）の際、適切な動詞を作ることができない。
- ・ 文構造の定着が不十分である。

##### 【指導上の課題】

- ・ 文構造を意識させる板書やノート指導、ワークシートの工夫が十分でなかった。
- ・ 基本的事項を確実に定着させるための繰り返し学習が十分でなかった。
- ・ つながりのある英文を書くためのポイントを明確にして、英作文を行う指導が十分でなかった。

#### 指導改善のポイント

##### 【指導の工夫】

文構造を意識させる板書やノート指導、ワークシートの工夫を行う。

基本的事項を繰り返し学習する場を意識して設定する。

英作文の課題を提示する際は、つながりのある英文を書くポイントを明確にする。

## パフォーマンス課題とルーブリック

### 【パフォーマンス課題】

ジェシカ先生は春休みを利用して日本の国内旅行に出かけたいと思っています。そこで旅行代理店に空いているプランを調べてもらったところ、候補地は「長崎」「沖縄」「東京」の3つになりました。しかし、ジェシカ先生はそこがどんな場所なのか分からないので、3つのなかでどこへ行くのが一番よいか悩んでいます。

もし、あなたがジェシカ先生に行き先を勧めるならどこをすすめますか。ジェシカ先生があなたの勧める場所に魅力を感じることができるように、その場所をアピールする文を書いてください。その際に、分かりやすく意見を伝えるためにそう思う根拠や理由を交えて書いてください。

### 【パフォーマンス課題に対するルーブリック】

	表現（書く）
A 評価	伝達したい内容について、状況にあった語句を選択し、明瞭で詳細な説明をしている。また、自分の気持ちやなぜそうしたいのかという理由、具体例を明確にして記述している。
B 評価	伝達したい内容について、相手に自分の述べたいことが伝わるような説明をしている。また、自分の気持ちやなぜそうしたいのかという理由を記述している。
C 評価	伝達したい内容について、学習した内容を用いて書こうとしているが、誤りが多く、述べたいことが伝わらない。また、文と文につながりが見られない。

# 中学校第2学年 英語科学習指導案

## 単元名：My Favorite Movie

東広島市立八本松中学校

- 1 日時 平成24年1月27日(金) 5校時
- 2 学年・学級 第2学年3組
- 3 場所 2 - 3教室

### 単元について

本単元では、映画が話題の中心として取り上げられている。映画は、本学級の生徒にとって大変興味深い題材である。単元後半では映画『E.T.』が取り上げられているが、そのタイトルは知っていても映画を見たことがない生徒が多い。物語の要点を読むことで、生徒のイメージをふくらませたい。言語材料としては、比較表現が取り上げられている。2つまたはそれ以上のものを比較させる過程のなかで、生徒一人一人の価値観が見え、生徒理解へとつながる単元であると言える。本単元は、比較表現を用いて自分の意見を述べるのが可能になる。

平成20年9月に告示の「中学校学習指導要領解説 外国語編」の第2章「外国語科の目標及び内容」エ「書くこと」の(オ)では「自分の考えや気持ちなどが読み手に正しく伝わるように、文と文のつながりなどに注意して文章を書くこと」が今回の改訂で新たに加えられている。

この「自分の考えや気持ちなどが読み手に正しく伝わる」ためには、一文一文を正しく書くだけでなく、接続詞や副詞、代名詞を用いたりすることで、一貫性の高い文章を作ることができるようにすることが求められている。

何かを比較する際に、なぜその結論に至ったのかという根拠を説明することはコミュニケーションを図るうえで大切なことである。本単元では、because節を用いて意見の根拠を示すことで、つながりのある英文が作成できることを生徒に意識させながら指導を行っていきたい。

### 調査結果からみる課題

平成23年度広島県「基礎・基本」定着状況調査の結果によれば、「英語の勉強は好きです」「英語の授業を楽しみにしています」という問いに「あてはまる」と答えた生徒は7割を越えていることから本学級の生徒は概ね英語の学習に対して意欲的に取り組んでいると言える。文法事項の定着に関しても、「つながりのある英文を書くこと」という項目において準正答も含めた通過率は77.8%であった。これは市平均を5.1ポイント、県平均を16.4ポイント上回っている。しかしながら、生徒の解答に目を向けたとき、一般動詞の語形変化をさせていない生徒は学級の50%、つながりのある英文を書くことができていない生徒は55.6%であった。また、「英語の授業では、自分の考えや気持ちなどを英語で話しています」という問いに「あてはまる」と答えた生徒は6割未満であったことから学んだことを自分の考えや気持ちなどを表す手段として「活用する」ことが十分にできていないと思われる。

### 指導改善のポイント

本単元では、比較表現を用いて2つのものを比較したり、ある複数の中から1番を決めたりするのに必要な表現とともに、自分の考えを理由をつけて発表することができるように指導をしていきたい。また、課題に対する指導改善のポイントとして、以下の取り組みを行う。

文構造を意識させる板書やノート指導、ワークシートの工夫を行う。

導入時に既習の文を構造的(主語・動詞に着目させる)に表示し、比較表現を後で加えることによってその働きを押さえる。

基本的事項を繰り返し学習する場を意識して設定する。

Q & Aワークシートやドリルブックを用いての対話練習や書く練習を積極的に取り入れる。

英作文の課題を提示する際は、つながりのある英文を書くポイントを明確にする。

because節を用いて意見の根拠を示すことで、つながりのある文章ができることを事前に明確に与えておく。

## 単元の目標

自分の意見を，根拠を示して表現できる。(表)  
 比較表現を用いて，間違ふことを恐れず自分の考えなどを表現しようとしている。(関)  
 比較表現を用いた文を含む文章を聞いたり，読んだりして理解することができる。(理)  
 比較表現を用いた文の形・意味・用法を理解する。(言・知)

## 指導と評価の計画

(全12時間 本時2/12)

次	学習内容	評 価				
		関	表	理	知	主な評価規準
一	比較級・最上級を用いた英文の形・意味・用法を理解し，事実や自分の考えを表現する。(3) 【本時は2時間目】 パフォーマンス課題の提示				比較級・最上級を含んだ内容について大切な部分を聞き取ることができる。 比較表現を用いた文の構造についての知識がある。 比較表現を用いて話そうとすることを正確に伝えることができる。	観察 ワークシート 発表
二	比較級・最上級(more/most)を用いた英文の形・意味・用法を理解し，事実や自分の考えを表現する。(2)				比較級・最上級を用いて，間違ふことを恐れず自分の考えなどを話している。 比較級・最上級を用いた英文を正しく書くことができる。	発表 ワークシート
三	不規則変化する形容詞の比較級・最上級を用いた英文の形・意味・用法を理解し，自分の考えを表現する。(2)				聞いたことについて感想や意見を述べようとしている。 比較表現を用いて自分の意見や考えを表現できる。	観察 ワークシート
四	同等比較表現を用いた英文の形・意味・用法を理解し，事実や自分の考えを表現する。(2)				同等比較表現を用いた文の構造についての知識がある。 比較表現を用いて書かれた文の意味を場面のなかでつかむとともに，大切な情報を正しく読み取ることができる。	観察 ワークシート
五	本文を通して比較表現を復習し，理解を深める。(3) パフォーマンス評価				伝えたい内容，場面によって語句や表現を選択し，話すことができる。 書かれた英文を読んで正しく読み取ることができる。 場面や状況に対応した比較表現を用いた表現を知っている。	単元テスト パフォーマンス評価

## 本時の学習

(1) 本時の目標

最上級を用いた文について理解し、表現できる。

(2) 本時の学習展開

学習活動	指導上の留意事項(・) 支援を要する生徒への手立て( )	評価規準	評価方法
<p>1 Warm-up (7分)</p> <p>あいさつ Q &amp; A</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ペアになり、基本文の対話練習を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 素早くペアを変えながら活動を行わせる。</li> <li>・ 必要であればメモを取らせる。</li> </ul>		
<p>対話練習の例文</p> <p>S1) What is the date today? S2) It's November 10th. S1) Who is kinder A or B? S2) I think that A is kinder than B.</p>			
<p>対話練習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 比較級を用いた対話練習を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 形容詞・副詞について確認させる。</li> </ul>		
<p>対話練習の例文</p> <p>S1) Who is taller A or B? S2) A is taller than B.</p>			
<p>2 新出文型を確認する。 (15分)</p>			
<p>T) 今日はみんなに英語でグループの No.1 を決めて表現してもらいます。聞き手に分かりやすく伝えるためにそう思う理由なども付け加えましょう。</p>			
<p>新出文型の導入 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">受け取る</span></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 口頭で導入される新出文型を正しく聞き取る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生徒に質問しながら、最上級の文を導入する。</li> </ul>		
<p>T) Who is stronger, A or B? S) I think A is stronger. T) Who is stronger than A? S) I think C... T) C is the strongest in this class.</p>			
<p>ドリル学習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ワークブックを用いて新出文型を反復練習する。</li> <li>・ 素早くペアを変えながら口頭で何度も練習する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 理解の程度を見ながら、練習回数を変えていく。</li> </ul>		
<p>Q1) I am the tallest in my family. Q2) I am the oldest in my family.</p>			

		生活との関連	
T) 最上級を使って友だちのよいところを表現しよう。			
3 新出文型を用いて自己表現をする。(23分)	・早く作成できた生徒には、暗唱するよう指示を出す。 机間指導で、英作文が完成するよう支援する。		
ワークシート	吟味する, 表す		
・新出文型を用いて英作文を完成する。	・教えあいができているペアやグループを肯定的に評価する。	比較表現(最上級)を用いた文の構造についての知識がある。	ワークシート
I think is the kindest in this group because he always helps other people in need.			
暗唱練習		A 評価	
・英作文が完成したら, その文章を暗記する。	・ワークシートを基にグループで意見を交流し, 賛成・反対の意思表示をさせる。	比較表現(最上級)を用いてテーマに合った英文を作成し, その根拠を示している。	
交流	問う, 応える	B 評価	
・グループ内で自分の意見を発表し, 賛成・反対の意思を表示する。	・表現した英文を相手に伝える。グループ内での教え合いを促すなどして活動に参加させる。	比較表現(最上級)を用いてテーマに合った英文を作成している。	観察
		C 評価	
		比較表現(最上級)を用いた英文を正確に表現できていない。	
4 学んだことを確認し, 復習する。(5分)			
Q. 最上級を用いて先生方のことを1文で表現してみよう。			
本時の振り返り			
・次々への見通しを持ち, 学習した内容をまとめる。	・生徒に質問しながら本時の学習内容を確認する。		